

かがや
いのち、輝け！

とじょうこく けんこう まも
—途上国の健康を守るために—



写真提供：庄司康治 / JICA





| タイトル | ページ |
|----------------------------|-----|
| 1. ■ 感染症とは? | 1 |
| 2. ■ 予防接種により予防可能な感染症 | 3 |
| 3. ■ HIV／エイズの蔓延 | 5 |
| 4. ■ 安全な水と衛生の確保 | 7 |
| 5. ■ 国際的な協力による感染症対策 | 9 |

はじめに

この小冊子「いのち、輝け!」は、児童・生徒の皆さんが、先生や保護者の方々と共に、世界の「感染症」についての理解を深めていただくことを目的にJICA（ジャイカ）が作成したものです。世界中の多くの人々、特に開発途上国と呼ばれる地域に生きる人々が、色々な感染症によって、日々、命を失っています。これは、日本などの先進国では予防や治療ができるものが、途上国では貧困などの様々な問題により、対応が難しいという現状によります。

世界中の少しでも多くの命を感染症から守り、人々の健康を増進するためには、何が必要でしょうか? この小冊子では、5章にわたって感染症にまつわる様々な課題と、これに対する取り組みを紹介しています。

この小冊子を一人でも多くの方々に読んでいただき、「感染症」を同じ地球に暮らす私たち自身の身近な問題としてとらえ、また、私たちがこの問題に対し、「なにができるか?」を考え、「なにかができる!」と思うきっかけとなればうれしいです。

JICA地球ひろば所長

感染症とは？

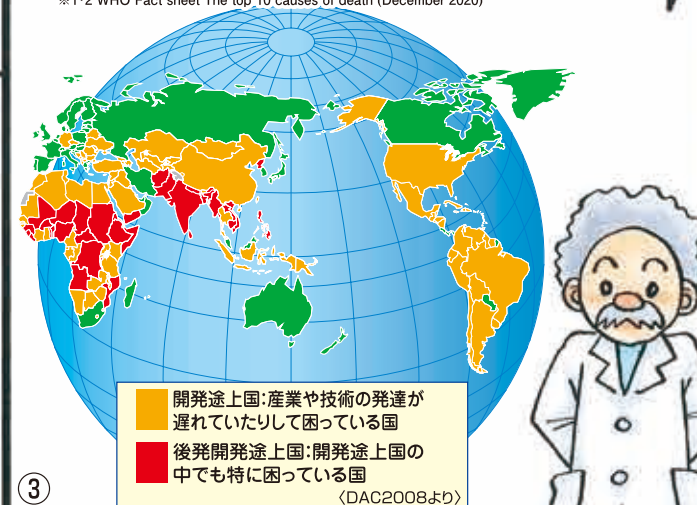
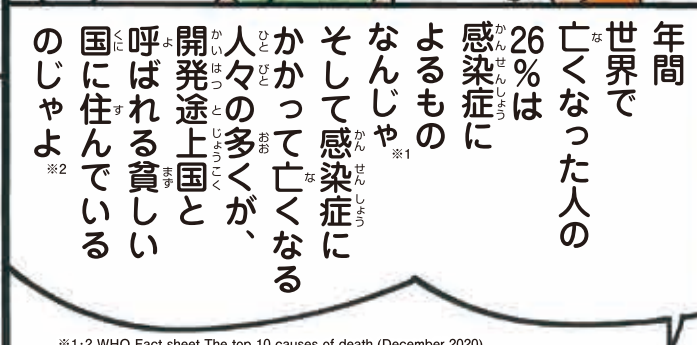
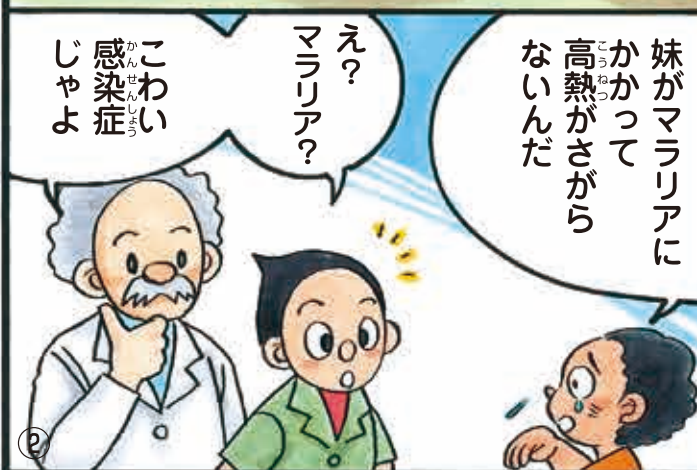
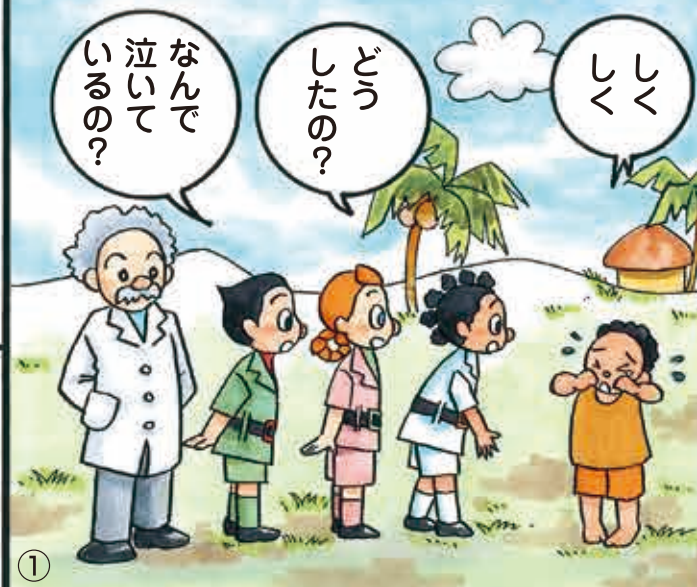
世界では多くの人々が、本来なら予防や治療ができる感染症という病気で死んでいます。また国際化が進み、人や物の移動が活発になり、感染症も、国境を越えて広がるようになってきました。

先生・保護者の方へ

人間と感染症との関いは長い歴史を持っています。ペスト、コレラ、天然痘などは世界各地で繰り返し大流行してきました。14世紀のヨーロッパでは、「黒死病」と呼ばれたペストの大流行で全人口の3割が命を落としたとされています。

日本でもかつては、天然痘、コレラ、赤痢、結核などの感染症が頻りに流行し、昭和初期の結核は国民の死因の第一位でした。

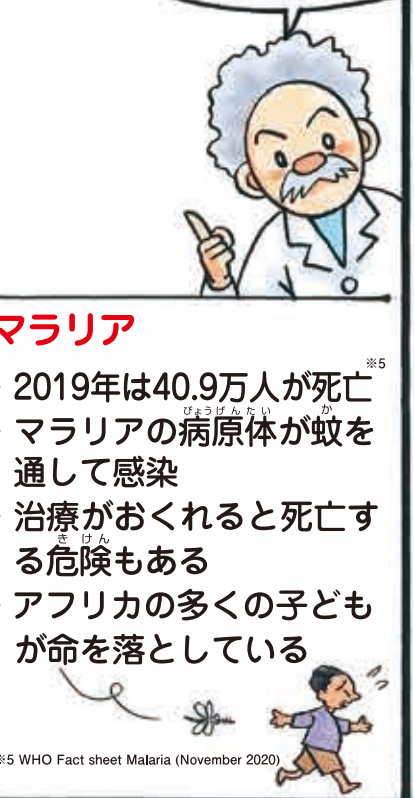
近年は、「新興感染症」や「再興感染症」の存在が目立ってきています。「新興感染症」とは、1970年代以降に新しく発見された感染症で、エイズ、エボラ出血熱、腸管出血性大腸菌感染症（O-157）、SARS、高病原性鳥インフルエンザなどが含まれます。「再興感染症」とは、近い将来克服されると考えられてきた感染症のうち、再び流行し始め、患者数が増えているもので、結核やマラリアなどです。



感染症とはウイルスや細菌、寄生虫などが空気や水、食べ物、動物や人を通して感染する病気で、その数はとてもたくさんあるんじゃないよ



なかでも HIV/エイズ、マラリア、結核は三大感染症といわれ、多くの人が亡くなっていくんじゃないよ



HIV/エイズ

- 2019年は69万人が死亡
- HIV（人免疫不全ウイルス）が血液や体液を通して人から人へ感染
- まだ完全な治療薬がない
- 予防教育のいきとどかないアフリカで特に深刻

結核

- 2019年は140万人が死亡
- 結核菌が患者のセキなどを通して感染
- 現在は治療薬があるが1940年代まで日本でも「国民病」といわれるほど患者が多かった病気

最近では三大感染症のほかに鳥インフルエンザやエボラ出血熱、新しい感染症が恐れられているんじゃないよ

でもどうして開発途上国では感染症が流行してしまうのかしら？



よぼうせつしゅ 予防接種により ふせ 防げる感染症

感染症はこれまで多くの
人々から命を奪ってきました。
医学の進歩により予防接種や
抗生物質が開発・普及され感染
症の流行を防ぐことができるよ
うになってきました。

先生・保護者の方へ

感染症の中にはワクチン接種により感染を
予防できるものもあります。

はしか、おたふくかぜ、ポリオ、ジフテリア、
百日ぜき、破傷風などです。日本では第
二次世界大戦後、予防接種を徹底し、あわせ
て保健所の全国設置、集団検診の実施、衛生
教育の普及活動などにより感染症の流行を防
いできました。

日本をはじめとする先進諸国や国際機関は、
医療分野はもちろんのこと、人材育成を含め
た保健医療システムの整備、教育や水など他
の関連分野の支援など包括的に感染症対策に
取り組んでいます。

あっ、何して
いるの？



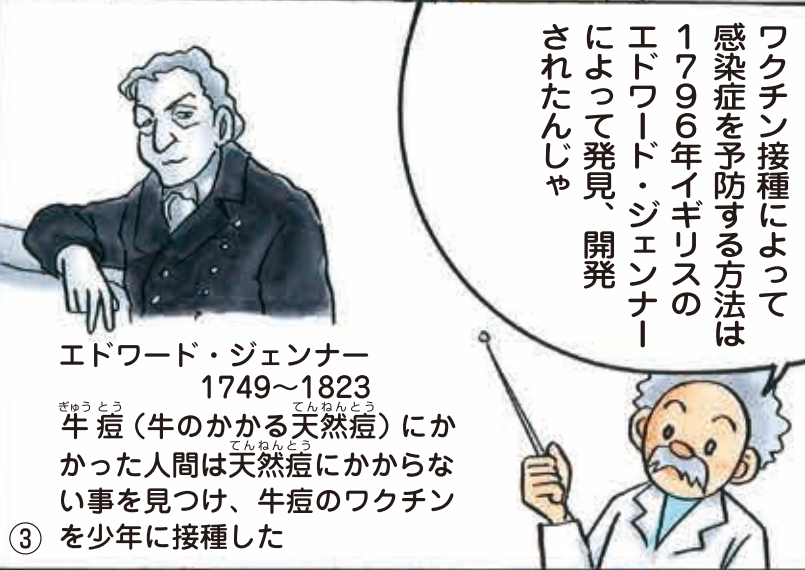
①

ジフテリア
百日ぜき
破傷風
ポリオ
はしか



②

予防接種は
感染症を防ぐのに
きき目の高い方法な
んじゃない



③

ワクチン接種によって
感染症を予防する方法は
1796年イギリスの
エドワード・ジェンナー
によって発見、開発
されたんじゃない

エドワード・ジェンナー
1749~1823
牛痘(牛のかかる天然痘)にか
かった人間は天然痘にかからない
事を見つけ、牛痘のワクチン
を少年に接種した

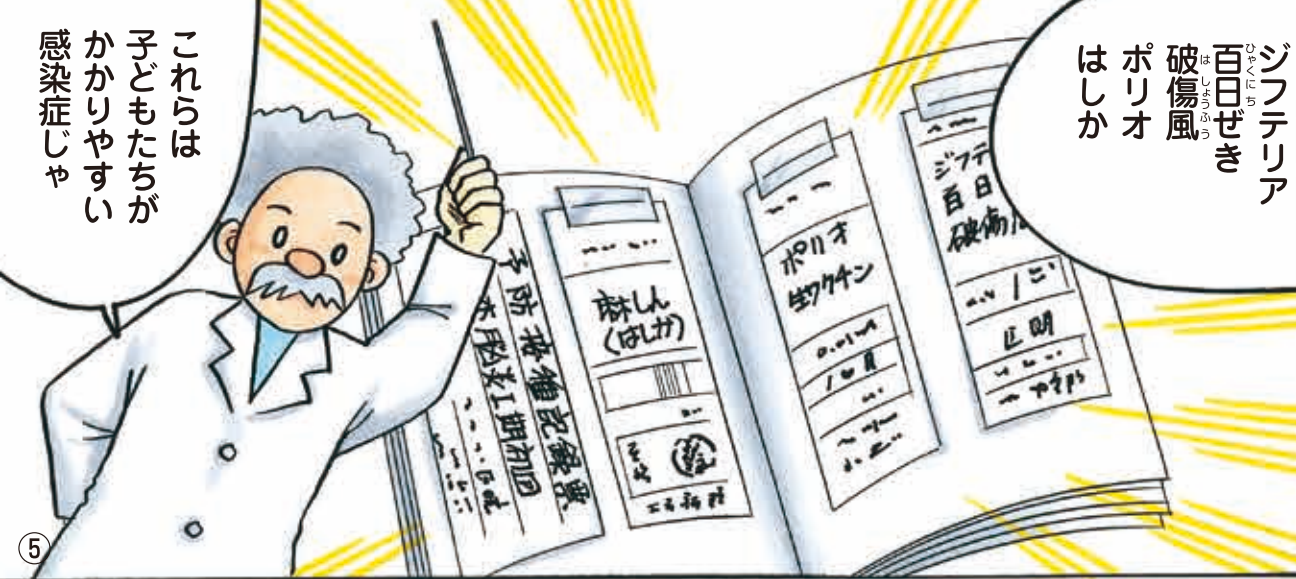


④

君たちも
いろいろな予防接種を
赤ちゃんのときに
受けているんじゃないよ

こうした支援で
ポリオはだいが予防できる
ようになってきたんじゃないよ
天然痘は1980年に
根絶宣言が出されたんじゃない

これらは
子どもたちが
かかりやすい
感染症じゃ



⑤

ほとんどの日本の子どもは
予防接種を受けている
しかし、途上国では
ワクチンが高いうえに
病院も少ないので
まずしい人たちは
なかなか
予防接種を
受けることが
できないんじゃない

そこで
ユニセフや
WHOなどの
国際機関や
先進国の
機関が
ワクチンを送ったり予防のための
技術支援をしたりしているんじゃない



写真提供：飯塚明夫/JICA



⑥

⑦

4

3

エイチアイブイ HIV/エイズの蔓延

エイチアイブイ HIV/エイズやマラリア、結核などの感染症は開発途上国を中心に大きな問題になっています。特にHIV関連の原因でこれまで3,500万人以上が亡くなっています。

今日は三大感染症の一つ HIV/エイズについて勉強しよう

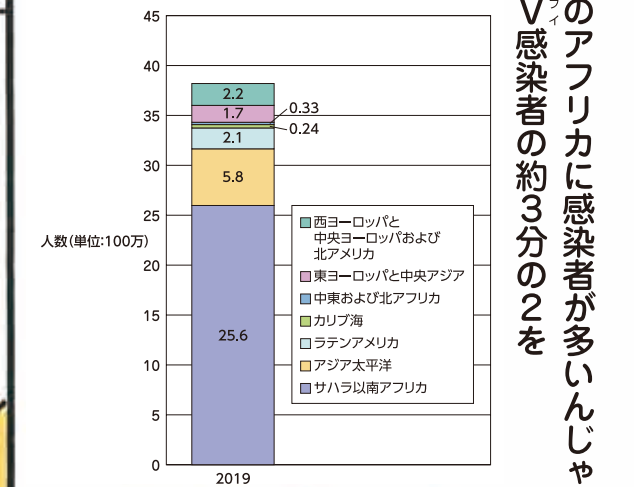


※6 WHO Fact sheet HIV/AIDS (November 2020)



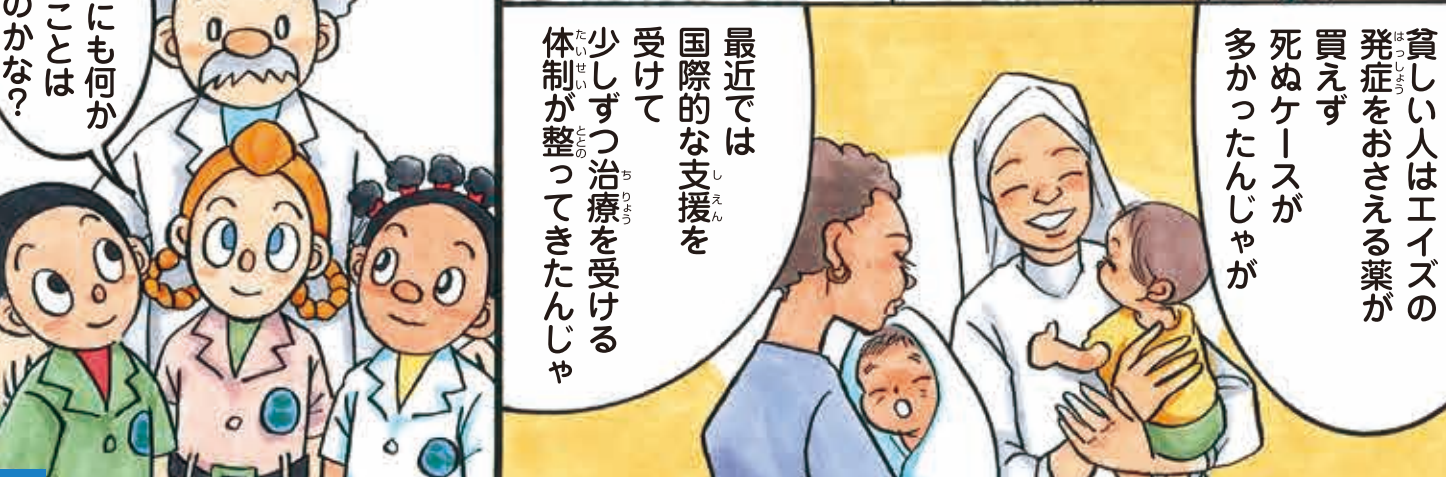
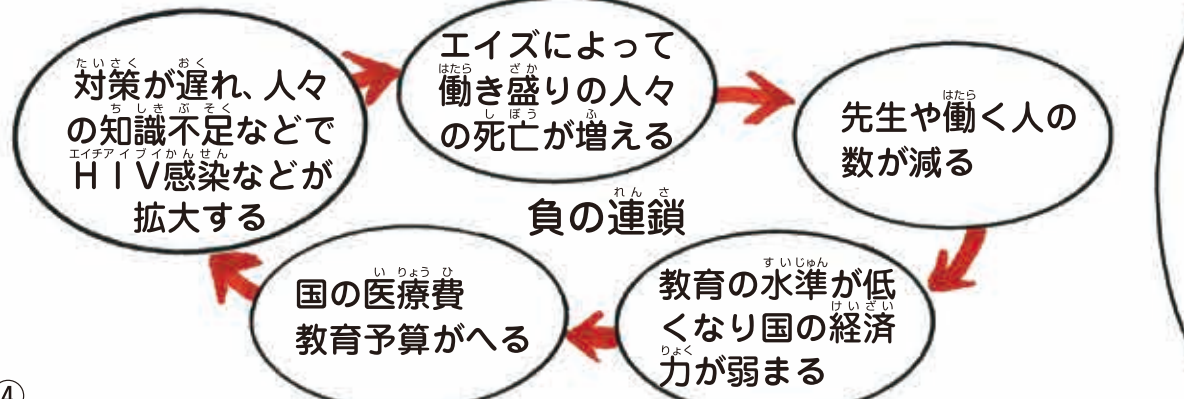
HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の感染者は全世界で約3800万人 HIVにより発症したエイズによる死者は69万人近くにのぼっている

特にサハラ砂漠以南の 아프리카に感染者が多いんじゃないよ これは全世界の HIV感染者の約3分の2を占めているんじゃないよ 国民の4人に1人が感染している国もあるんじゃないよ



※7 UNAIDS (2020)

貧しい国で HIV/エイズが広がると それが他の悪いことをひきおこし状況がますます悪くなってしまっくんじゃ



安全な水と衛生の確保

感染症の予防には、予防接種のほかに安全な水の確保や衛生環境を改善することが必要です。

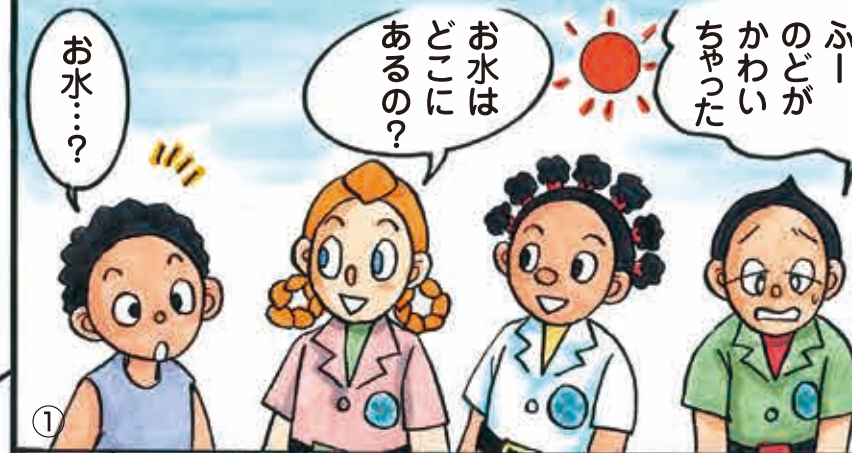
先生・保護者の方へ

現在世界では、安全に管理された水を飲めない人たちが21億います。そのうち8億4400万人は自宅から往復30分以内に、安全な水が汲める環境にありません。整備された水道や水汲み場などの水源が近くにない、つまり基本的な飲み水さえも手に入れづらい状況にあるのです。また、清潔なトイレなどの適切な衛生施設にアクセスできない人たちは45億人いると言われています。このような生活環境は、赤痢やコレラなどの水系伝染病の蔓延と深く関わっています。

貧困地域において「安全な水」を確保し、安定して供給すること、トイレの整備、保健衛生教育の推進は感染症対策の大きな課題となっています。

日本の、水と衛生分野における援助実績は世界一で、この分野における豊富な知見があり、上下水道の整備・拡張や、給水率の向上のためのプロジェクトなどソフト・ハード両面からの国際協力に取り組んでいます。

⑤ WHO and UNICEF Progress on Drinking Water, Sanitation and Hygiene: 2017 Update and Sustainable Development Goal Baselines
⑥ 外務省 2016年度版 開発協力白書



※6 WHO and UNICEF Progress on Drinking Water, Sanitation and Hygiene: 2017 Update and Sustainable Development Goal Baselines



写真提供: JICAアフリカ部



感染症予防のために私たちにもしっかりとできることってないかしら

次回くわしく勉強しよう

国際的な協力による感染症対策

人々の命や暮らしをおびやかす感染症の予防のため、国際的な支援が行われています。

開発途上国の感染症予防のために

世界でどのような支援が行われているか
くわしく見てみよう



① 国連がとりまとめた「持続可能な開発目標(SDGs)」にはHIV/AIDSの蔓延やマラリアの発生を2030年までにくいとめることが盛り込まれています



③ WHOやユニセフは予防接種を広めるための支援やトイレや井戸などの衛生環境の整備、人材育成などを行っています



④ このほかに日本をはじめとする先進諸国やNGOとよばれる非政府組織なども開発途上国で感染症対策の活動をしています

先生・保護者の方へ

2015年、国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)では、17の目標と169のターゲットが掲げられました。目標3は「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」、これをさらに具体化したターゲット3.3は「2030年までに、エイズ、結核、マラリアおよび顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症およびその他の感染症に対処する。」で、持続可能な世界のために、各国が協力して病の根絶に立ち向かっていきます。

新フクチンの研究



ほかにこのような活動をしているよ



マラリア予防の蚊帳の配付

これが蚊帳なのね



感染症で苦しむ人々が世界中にいます

⑤ みんなが知って、考えて、協力できることを探す気持ちが大げんじや



⑥ 私たちもできることからはじめましょう

私は募金をするわ

⑦ クラスのみんなと話したりボランティア活動をするのもいいね

あなたの近くのJICA国内拠点

●JICA国内拠点

JICAには北海道から沖縄まで、地球ひろばを含めて全国に15ヶ所の国内機関があります。ここでは、教員の方向けの研修、施設訪問の受け入れ、開発途上国からの研修員の受入れの実施や、市民の皆さまからの国際協力に関する質問・要望にお応えしています。



JICA 国内拠点

検索



●国際協力推進員(JICAデスク)

あなたにいちばん近いJICAです。開発途上国で活動した経験を持つ国際協力推進員が、各都道府県にてJICA事業についての出前講座など、教育現場で途上国や国際協力、青年海外協力隊を伝える活動等を行っています。



JICA デスク

検索

「地球ひろば」のご案内

JICAでは開発途上国の暮らしの現状や、地球が抱える問題について学べる3つの“地球ひろば”を開設しています。途上国の現状と地球規模の問題がどのように私たちの生活と結びついているのか、そして国際協力とはどんなものなのかについて、見て・聞いて・触って学べる展示があり、国際協力の現場を経験した「地球案内人」が皆さんの学びをサポートしてくれます。

●JICA地球ひろば

東京都新宿区市谷本村町10-5
(代表)03-3269-2911 (地球案内デスク)0120-76-7278
<https://www.jica.go.jp/hiroba/about/index.html>
・開館時間:平日10:00～20:00、土日祝日10:00～18:00
・休館日:年末年始・毎月第1・第3日曜日



●なごや地球ひろば

愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60-7
(代表)052-533-0220
<https://www.jica.go.jp/nagoya-hiroba/>
・開館時間:10:00～18:00
・休館日:月曜日、祝日、年末年始
(カフェ クロスロードは月曜・祝日も営業)



●ほっかいどう地球ひろば

北海道札幌市白石区本通南16丁目南4-25
(代表)011-866-1515
<https://www.jica.go.jp/hokkaido-hiroba/>
・開館時間:平日10:00～17:30
・休館日:土日祝日、年末年始



JICAの国際理解教育／開発教育支援サイト

○WEBページ「先生のお役立ちサイト」

JICA地球ひろばのホームページにて、下記に紹介するプログラムや、授業や家庭学習で活用いただける資料を掲載しています。下記のプログラムや、パンフレットデータ、映像教材の他に、100件を超える国際理解教育の授業実践事例、授業で使える写真や資料を公開しています。また、教員向けの海外研修や、国内での研修会、中高生向けエッセイコンテスト等も紹介しています。



JICA 先生のお役立ち

検索

学校で活用できるJICA開発教育支援プログラム

○国際協力出前講座 ～国際協力の現場の話を聞いてみよう！～

教室や職場に、青年海外協力隊などを講師としてご紹介します。開発途上国での国際協力活動や、その国の文化や暮らしの話の他にも、環境、道徳、スポーツ、キャリア教育など、ご希望のテーマや時間に応じて講座を組み立てることができます。ご関心のある方は、左のページのJICA国内拠点、国際協力推進員までご連絡ください。



国際理解教育／開発教育のための教材

○小冊子「ぼくら地球調査隊」「学校に行きたい！」

環境、感染症、教育、食料問題など、私たちの身近に迫っている地球規模の課題について、イラストや写真、グラフなどから学ぶことができます。



○持続可能な開発目標(SDGs)を学べる教材

印刷して使えるSDGsカードやサイコロ、SDGsを学べる冊子教材、動画等を紹介しています。



○国際理解教育実践資料集(教員向け)

国際社会が取り組むべき地球規模の課題について、イラストや図を使って分かりやすく解説しています。教員用ページには学習のねらいや資料のポイント、学習指導要領との関連などを掲載しています。

○授業や家庭学習で使える10分映像(YouTube,DVD)

「難民」「イスラム」「国際協力」「教育」の四つのテーマについて、それぞれ10分の映像にまとめました。国を逃れた難民の生活や、イスラムの暮らし、日本の国際協力の強み、日本によるアフリカでの教育支援などを知り、考えるきっかけとなる映像です。それぞれのテーマについて学びを深める参考資料も掲載しています。



JICA 10分映像

検索





JICA地球ひろば
(独立行政法人国際協力機構)

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5 TEL: 03-3269-2911 FAX: 03-3269-2054 URL : <https://www.jica.go.jp/hiroba/>

第一版：2007年12月



2021.3